

## 持続可能な地域社会の実現（2018年度実績）

### <地域活性化支援>

#### ・古民家活用ワークショップの開催

（北陸銀行）

9月～3月、富山市と小松市において、古民家などの歴史的建築物を活用した地域活性化支援で連携する西日本旅客鉄道(株)および(株)NOTEとの3社で古民家活用ワークショップを開催しました。本ワークショップは古民家等を活用し「観光振興」「雇用創出」「空き家対策」などの地域課題を解決することを目的としています。富山会場、小松会場合わせてのべ約140名が参加し、古民家を利活用したまちづくり事業の基本的な流れとプロセスを学び、仮想物件や実在する物件を題材に事業計画の策定をワークショップ形式で実践しました。



#### ・台湾訪日旅行者をターゲットとしたメディア招聘事業の実施

（北海道銀行）

10月、台湾のメディア関係者に取材してもらい、台湾本土向けに北海道等の観光情報を発信してもらうことで、震災による北海道観光の風評被害払拭およびインバウンド観光客の誘客を目指した招聘事業を実施しました。

3年目となる本年度は、キャッシュレス観光のPRやほくほくFGとして新幹線を利用した富山県～北海道の広域観光周遊ルートの紹介、カーリング体験等を通じた北海道の魅力を紹介しました。

#### ・(学)日本体育大学、(学)東日本学園北海道医療大学および当別町との「4者による連携・協力に関する協定」を締結

（北海道銀行）

11月、日本体育大学、北海道医療大学および当別町との間で、「4者による連携・協力に関する協定」を締結しました。日本体育大学と北海道医療大学は、相互のノウハウを生かしてスポーツ分野等の研究を進めるとともに当別町内での合宿誘致等を行い定住・交流人口の増加を目指しており、3者相互の連携に協力することで地域活性化に取り組んでまいります。



#### ・北海道観光の復興に向けたメッセージ動画を配信

（北海道銀行）

11月～12月、北海道胆振東部地震により被災した北海道観光の復興を支援するため、北海道開発局と連携し、北海道内各地域からの「元気です北海道」メッセージ動画を各店舗で配信しました。本動画は、北海道開発局・シーニックバイウェイ北海道等が収集し、提供いただいたものです。



#### ・「クラウドファンディング(CF)とやま」の開始

（北陸銀行）

1月、READYFOR(株)および(株)北日本新聞社と3社協定を締結し、富山県内のチャレンジャーを応援するクラウドファンディングプラットフォームとして「クラウドファンディング(CF)とやま」を開始しました。本協定は、富山県の良さを発信するプロジェクトや、富山県をより豊かで魅力ある地域にしようとするプロジェクトを行いたい個人・企業・団体・自治体等の資金調達を後押しし、富山県の地方創生の推進に寄与することを目的としています。

#### ・各自治体との「地方創生に関する包括連携協定」の締結

（北海道銀行）

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として地方自治体との「地方創生に関する包括連携協定」を締結しています。

2月、仁木町と協定を締結しました。今後も各自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進に向けて、積極的な連携を図ってまいります。



#### ・「北海道創生 未来につなげるシンポジウム」の開催

（北海道銀行）

2月、北海道大学公共政策大学院および(株)道銀地域総合研究所とともに、国が創設した「地方創生人材支援制度」により道内自治体に派遣されている4名の活動状況や取り組みを発表する場として「北海道創生 未来につなげるシンポジウム」を開催しました。

北海道の地方創生の底上げのために道内自治体で地方創生の中心的な役割を担って活動している派遣者の多様な取り組みを地方創生に携わっている関係者に周知することを目的としています。

### <責任ある投融資>

#### ・寄贈型ESG、SDGs私募債取り扱い

（北陸銀行）

11月、「<ほくぎん>寄贈型ESG私募債」および「<ほくぎん>寄贈型SDGs私募債」の取り扱いを開始しました。お客さまの私募債の発行額の0.2%までの金額相当を寄贈品または現金で寄付するものです。ESG私募債では寄贈品(教育備品、福祉関係機材、環境配慮資材等)を教育機関や富山県に寄付します。SDGs私募債では現金を慈善団体や基金、または富山市、白山市等が推進するSDGsモデル事業等に寄付します。本商品を通じて地域のお客さまの多様な資金ニーズにお応えするとともに、ESGやSDGsの趣旨に沿った地域貢献活動をはじめ社会・地球の持続可能性に取り組んでまいります。

#### ・ESG、SDGsを踏まえたクレジットポリシーの改定

（ほくほくFG・北陸銀行・北海道銀行）

2019年4月、ESG、SDGsを踏まえたクレジットポリシーの改定を行いました。主業務である融資支援業務においてESG、SDGs等の社会課題への取組姿勢をグループ全体で共有することで、お客さまと共通価値の創造を目指してまいります。

#### ・「どさんこ地域活性化ファンド」の設立

（北海道銀行）

2019年4月、北海道ベンチャーキャピタル(株)と共同で「どさんこ地域活性化投資事業有限責任組合(どさんこ地域活性化ファンド)」を設立しました。従来から「ほっかいどう地方創生ファンド」で行ってきた「地域資源を活用し成長を創るベンチャー企業」への投資に加え、「事業拡大や事業承継・事業改善に取り組む企業」に対し、ファンドを通じた成長支援や後継体制の構築支援等を行うことにより、地域活性化を促し、継続的な産業の維持・発展に寄与することを目的としています。本ファンドでの資金供給と金融仲介機能を提供することにより、北海道経済を担う中小企業等の成長を支援してまいります。

## <環境保全活動>

- ・**なんどの森づくり事業の協力参加について** (北陸銀行)  
10月、富山県南砺市遊部自治会が推進する「なんどの森づくり事業」に参加協力しました。本事業は世界遺産「五箇山合掌造り」の屋根に使用する素材の茅不足改善を目的に2015年11月から開始されました。世界遺産を守る同事業の趣旨に賛同するとともにSDGsの趣旨に沿った持続可能な社会の実現に向けて参加協力しており、今回で4回目となります。行員20名と地域住民を含めた約100名が茅苗350株を植栽しました。



## <地域密着活動>

- ・**エスポラーダ北海道MATCH DAYを開催** (北海道銀行)  
12月、「北海道銀行MATCH DAY」と題した冠試合を開催し、北海道銀行がオフィシャルスポンサーになっている「エスポラーダ北海道」と「名古屋オーシャンズ」が対戦しました。2,415名の観客を動員し、試合後半でゴールを決める場面もあり会場を盛り上げました。



## ■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客様の経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

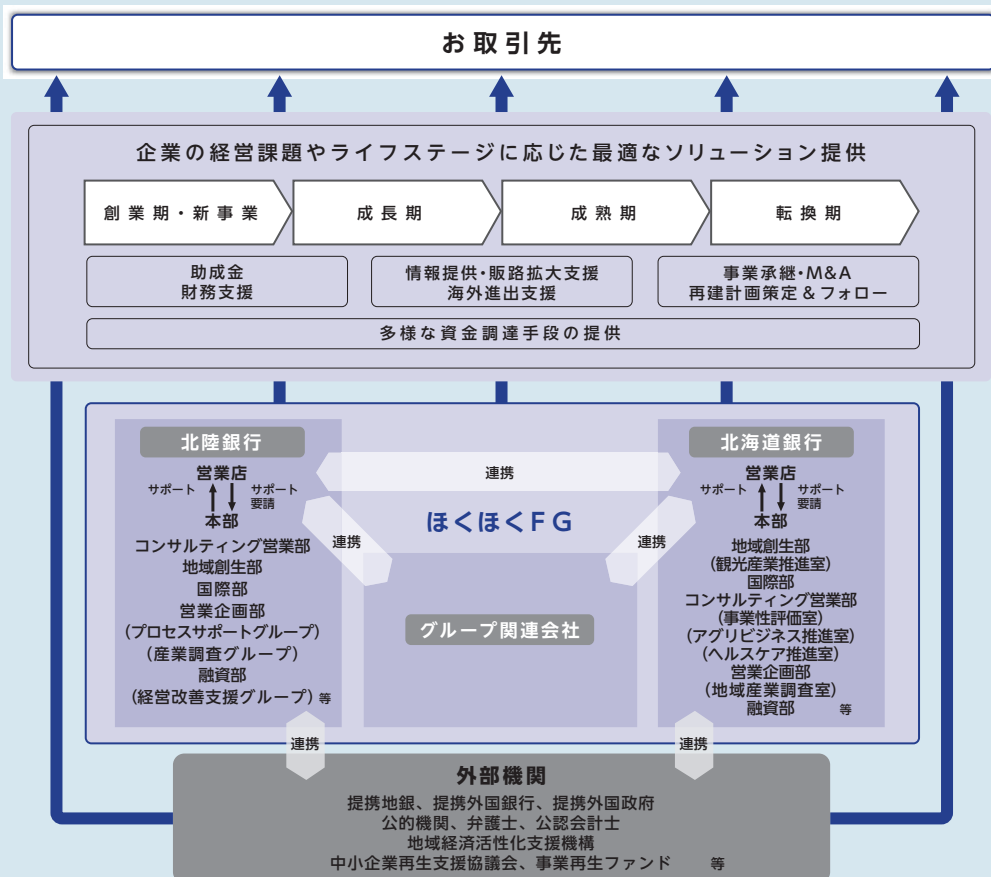
お客様の経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

## ■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強靱化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行融資部(経営改善支援グループ)、北海道銀行コンサルティング営業部(事業性評価室)が担っています。また、営業力の向上に向けたお取引先への情報提供と販路拡大支援、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行コンサルティング営業部、地域創生部、国際部、営業企画部(プロセスサポートグループ、産業調査グループ)および北海道銀行地域創生部、コンサルティング営業部、営業企画部(地域産業調

査室)、国際部が担い、事業承継、M&Aについては、北陸銀行コンサルティング営業部、北海道銀行コンサルティング営業部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人財の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善や更なる充実を図る態勢としています。



## 1. 創業・新規事業開拓の支援

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

### <公的助成申請サポートによる創業等の支援>

(北陸銀行・北海道銀行)

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業を後押しし、事業多角化をサポートしています。

また、「2017年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金(一次公募期間2018.2.28~2018.4.27、二次公募期間2018.8.3~2018.9.18)」の申請を検討・準備しているお取引先に対して、北陸銀行および北海道銀行(道銀地域総合研究所と連携)では専門家によるアドバイスや申請支援・採択後の実施支援を行いました。

(2018年度実績)

ものづくり補助金 採択件数	76件
---------------	-----

### <創業支援にかかる外部連携強化>

#### ・創業者ネットワーク構築のきっかけづくりや補助金等の情報提供等による創業の支援

(北陸銀行)

3月、創業おおむね5年以内の事業者を対象とした「創業者の集いとフォローアップセミナー」を富山市で日本政策金融公庫と共同主催しました。創業者同士のネットワークづくりや、専門家の講演を通じ創業後の経営課題解決のヒントを掴む場を提供し、事業の更なる飛躍につなげていただくことを目的としています。

これまで「創業支援セミナー」として創業希望者や創業後間もない事業者を対象に北陸3県でのべ13回開催してまいりましたが、今回は事業者の事業期間や業種の幅を拡大してアレンジしたところ、先輩起業家や専門家からのアドバイスを吸収しようと定員を上回る64名が参加しました。セミナー後には、販路開拓やIT活用、資金計画や補助金活用等、様々な経営課題にお答えする個別相談会も開催しました。



### <経営者へのサポート>

#### ・「道銀創業支援塾」、「道銀農業経営塾」の開講

(北海道銀行)

創業を目指す経営者候補と創業5年以内の経営者の方々を対象に、北海道中小企業総合支援センター(北海道よろず支援拠点)、日本政策金融公庫との共催で、事業計画、会社・税務など創業に必要なノウハウを学ぶことができる「道銀創業支援塾」を2015年度より開講しています。

(卒業生77名、うち2018年度(6期・7期)20名)

また、農業生産法人や農業経営者の「企業化」への支援を目的として、2011年度より「道銀農業経営塾」を開講しています。「経営理念」「経営管理(財務・税務・労務)」「販路拡大・販売戦略」などの情報を専門家の講義や参加者との意見交換を通じて習得し、将来の北海道農業の担い手となる経営者の育成に取り組んでいます。

(卒業生106名、うち2018年度12名)

#### ・X-Tech Innovation2018を開催

(北海道銀行)

12月、急速に発展する様々なテクノロジーに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテストを開催しました。



本コンテストは、昨年度共同開催したふくおかフィナンシャルグループおよび沖縄銀行に七十七銀行が加わり、4行・4地域での開催となりました。

本コンテストを通じてスタートアップ企業のビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性を模索し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(参加者数約150名、地区応募件数24名、最終選考登壇10社)

## 2. 成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

### <セミナーの開催>

#### ・IPOセミナーの開催

(北陸銀行)

10月に、金沢市であずさ監査法人、東京証券取引所と共同で、「IPOセミナーin金沢」を開催しました。上場検討中のお取引先への情報提供と地元企業が株式上場を目指すきっかけづくりを目的としています。2017年7月の東京証券取引所との包括的連携協定締結に基づき今回2回目の開催となりました。地元企業からの26名を含む56名が参加し、福井県内企業で10年ぶり

に上場を果たした企業経営者の上場体験談や全国的に知名度の高いFinTech企業経営者を変えたパネルディスカッション、交流会では活発な情報交換が行われました。株式上場を通じて地域企業の更なる成長を促進し、地域経済の活性化や発展に寄与するよう取り組んでまいります。



・「地域活性化推進セミナー」の開催 (北海道銀行)

3月、国土交通省とのPPP協定事業の一環として、当別町にて「地域活性化推進セミナー」を開催しました。北海道内の自治体や事業者へPPP/PFIの仕組みを広く周知し、理解を深める一助としていただくものです。  
(参加人数70名)

＜商談会等の開催＞

・「ビジネス・サミット2018」～東海・北陸 見た目も美味しい！食の大商談会～の開催 (北陸銀行)

5月、大垣共立銀行と共同主催で13回目となる食をテーマとした商談会を開催しました。取引先の販路拡大を支援し、地域経済の活性化への貢献を目的としています。展示商談会のほか、流通系バイヤー65社を招いた個別商談会も同時に実施し、数多くの商談が行われました。  
(出展社数113社、来場者約2,500名、商談件数約900件)



・「地方銀行フードセレクション2018」の開催 (北海道銀行)

10月、「地方銀行フードセレクション2018」を全国の地方銀行54行と合同で開催しました。  
本商談会では、主催する地方銀行のお取引先で、全国に向けた販路拡大を希望する「食」関連の企業および団体と、地域色豊かな安全で美味しい食材を求める百貨店や食品スーパーなどのバイヤーとの面談の場を提供しました。  
(出展社数970社、来場者13,248名)

・生産者・食品企業との商談会の開催 (北陸銀行)

2月、日本政策金融公庫と共催し、愛知県内に25店舗を展開する(株)不二屋(本部:春日井市)と北陸3県の食品関連の取引先との商談会を富山市で開催しました。広域ネットワークを活用して、東海地域の消費者に「北陸の美味しい」を発信することがコンセプトです。45社が出展して約140の商材について、(株)不二屋のバイヤー4名と45件の商談が行われました。



・「外食産業」と「農業生産者」の意見交換会を開催 (北海道銀行)

北海道の農業と外食産業の成長につなげる機会づくりのため、道内の外食産業と農業生産者との相互理解を図る意見交換会を開催しました。  
外食産業から2社、農業生産者から7社・団体が参加し、外食分野での道産食材の普及や農業現場での課題などについて話し合い、外食各社の2019年秋冬メニューに生産者自慢の農産物を使うことになりました。



＜海外進出サポート(セミナー・イベントの開催)＞

・インドネシアビジネス・フォーラムの開催 (北陸銀行)

11月、富山市でインドネシアの最新情報を提供することを目的に「インドネシアビジネス・フォーラム」をインドネシア共和国投資調整庁と共催しました。  
23名が参加したセミナーでは、同庁日本事務所駐在所長による投資機会についての講演、現地大手銀行のバンクネガラインドネシアの東京支店長による現地での支援体制についての講演を行い、現地の経済情勢や理解しておきたい土地柄や国民性などについて学んでいただきました。



＜海外進出サポート(商談会の開催)＞

・タイ日系ビジネス交流会を共催 (北陸銀行)

5月、タイ・バンコクにおいて、タイに拠点を持つ地方銀行18行と共同で、お取引先の販路拡大や調達が多様化の機会を提供することを目的として、3回目となる「タイ日系ビジネス交流会」を開催しました。参加者は業種ごとのテーブルに分かれ、ビジネスネットワークの拡大のため自社製品の紹介や調達ニーズについて活発な交流・商談を行いました。引き続き海外商談会の開催とその後のフォローを通じて、お客さまのニーズにお応えする活動を展開してまいります。  
(出展社数481社、参加人数588人、商談件数715件)



・北陸の工作機械説明会in武漢を開催 (北陸銀行)

5月、自動車産業の発展が著しい中国湖北省武漢市において、北陸を代表する工作機械メーカー5社が参加する「北陸の工作機械説明会in武漢」を、2017年9月に経済交流の覚書を締結した武漢市商務局と主催し初開催しました。  
中国内陸部での販路拡大を狙う北陸企業が製品の特徴や価格、活用事例などを紹介し、その後の自動車メーカーに部品を供給する現地企業との交流会では、熱心な意見交換と商談が行われました。引き続き、海外の提携先を活用したお客さまへのサポートとビジネスチャンスの提供に努めてまいります。  
(取引先参加5社・10人、中国側参加32社・44人)



・2018大連-地方銀行合同ビジネス商談会の開催 (北陸銀行・北海道銀行)

11月、中国遼寧省大連市において、ほくほくFG(北陸銀行・北海道銀行)を含む地方銀行16行と大連市人民政府との共催で、9回目となる合同ビジネス商談会を開催しました。地方銀行の取引先88社、中国側企業326社が出展し、部材調達・販路拡大・委託加工先・投資および合併パートナーなどを求めた1,229件の商談が活発に行われ、取引先企業の新たなビジネスチャンスの創出や交流が図られました。引き続き海外商談会の開催などを通じ



て、お客さまの海外ビジネス支援ならびに地域経済の活性化に貢献してまいります。

#### <その他の取り組み>

- ・**広域BM会議開催** (北陸銀行)  
4月、北陸地区から北海道・東京・名阪地区へビジネスマッチング情報を発信する「第6回広域BM会議」を富山市(てるてる亭)で開催しました。参加企業自らが営業店の支店長へプレゼンテーションを実施し、直接意見交換をすることにより、広域店舗網を活用したビジネスマッチングの精度を高めました。(参加企業6社、参加部店109部店、商談対応件数39件)
- ・**(株)スタディストとの業務提携** (北陸銀行)  
5月、取引先の生産性向上や働き方改革、コスト削減をサポート

トするため、マニュアル作成支援企業である(株)スタディストと業務提携しました。同社が提供しているクラウド型マニュアル作成・共有プラットフォームでは、業務マニュアルや作業手順書の作成時間を大幅に短縮できるほか、閲覧、共有、改訂を簡単に行うことができるのが特徴です。

- ・**BCP(事業継続計画)策定支援コンサルを開始** (北海道銀行)  
11月、北海道経済産業局および(株)道銀地域総合研究所と連携し、BCP策定支援コンサルを開始し、1月には、お取引先企業のBCP(事業継続計画)策定や防災対策への取り組みを支援するため「道銀BCP私募債」と、融資商品「事業継続支援資金(災害復旧プラン・BCPサポートプラン)」の取り扱いを開始しました。地域金融機関として道内企業の災害発生時における対応態勢構築をサポートすることで、道内経済の成長に貢献してまいります。

### 3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

#### <経営改善・事業再生>

- ・**外部機関との連携強化**  
地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会、経営改善計画策定支援事業(早期経営改善支援含む)など外部機関を活用した経営改善の取り組みを強化しています。また、REVICの特定専門家派遣制度を活用して、「事業性評価研究会」を実施しています。
- ・**深度ある実態把握と経営改善支援**  
経営改善の課題・改善策を明確にするため、SWOT分析を用いた事業性評価やPDCAサイクルによるモニタリング、協働および自行経営コンサルティング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しています。

#### 経営改善支援の取組実績

重点的な経営改善支援を必要とするお取引先(経営改善支援取組先)	703先
うち再生計画を作成した先	566先
うち事業の改善が確認できたお取引先	54先

- ・**金融円滑化に向けて**  
当社グループは、地域金融の円滑化を最も重要な役割と捉え、これまでも地域のお客さまの資金需要や返済条件の見直しなどのご要望に対して積極的な取り組みを行ってきました。今後も、中小企業・個人事業主のお客さま、住宅ローンをご利用のお客さまからのご要望に対して真摯かつ柔軟な対応に努め、金融円滑化に関する基本方針に則り積極的な支援を行ってまいります。
- ・**経営者保証に関するガイドラインへの取組状況**  
当社グループは、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」(以下、本ガイドラインという)を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、順守するための態勢を整備しています。  
お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めています。

本ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・全国銀行協会 <https://www.zenginkyo.or.jp/adr/sme/guideline/>
- ・日本商工会議所 <https://www.jcci.or.jp/sme/assurance.html>

#### ・経営者保証に関するガイドラインへの取組実績

①新規に無保証で融資した件数	8,768件
②保証契約を変更した件数	329件
③保証契約を解除した件数	674件
④ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	14件

#### <事業承継・M&A>

- ・**提案活動の実施**  
事業承継やM&Aなど専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお取引先のニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っています。
- ・**事業承継対策として経営者・後継者向け婚活支援を開始** (北海道銀行)  
2月、結婚相手紹介サービスを展開するマリッジパートナーズ(株)および人材紹介業務を行うヒューレックス(株)と業務提携しました。婚活支援も円滑な事業承継支援につながると考え、後継者不足に関する課題等を抱えるお客さまのニーズに対応する体制を整備することで、中小企業の継続的な成長や事業承継を支援し、地域経済の発展に取り組んでまいります。
- ・**「道銀・経営塾」で後継者・幹部育成を支援** (北海道銀行)  
お取引先企業の後継者の育成・異業種交流の場として1年間のビジネススクールを開催しています。「道銀・経営塾」は20期目を迎え、幹部社員の育成を目的とした「同(幹部育成コース)」も9期目となりました。  
2018年度までの卒業生は899名となり、卒業後も卒業生同士が交流を図り、相互研鑽できる場として講師を招いた定例会等も開催しています。  
(2018年度卒業生28名、幹部育成コース卒業生38名)